



## The Oxford Companion to Wine Fifth Edition

Julia Harding, MW\*, Jancis Robinson, OBE, MW\*,  
Tara Q. Thomas 共編

Hardcover | 944 pages | ISBN: 9780198871316

価格: 税込 **11,000 円** (本体 10,000円+税)

\* MWは英国に拠点を置くマスター・オブ・ワイン協会が認定する、ワイン業界においてもっとも名声の高い資格です。超難関として知られるこの資格の合格者は世界に340名（日本人は2名）で、国際的に商標権を有するMaster of Wineを意味する「MW」を名前の後ろにつけることが許されています。

- 本書は、英国王室のワインセラーのアドバイザーも務め、世界でもっとも有名なワイン評論家と評されるジャンシス・ロビンソン執筆の『The Oxford Companion to Wine』（初版・1994年）の改訂第5版です。
- 初版から第4版（2015年刊行）まで累計で28万5千部を販売
- 従来はワイン業界の関係者しか入手できなかったようなワインの生産・製造に関する知見を、広く一般にむけてわかりやすく解説しているとして数多くの受賞歴があり、「数あるワイン本の中で1冊だけ買うならコレ」とのご評価をいただいています。

### 今回の改訂のポイント:

- これまでワインの産地としてあまり知られていなかった地域で作られているワインを始めて紹介（例: エストニア、ラトヴィア、フィンランドなど、ブドウの生育に向かないとされてきた寒冷地で生産されているものや、ガボン、セネガル、ウガンダ産のものなど）
- アラスカからノバ・スコシア、そしてハワイまで、北米地域のワインをこれまで以上に掘り下げるべく、北米から執筆チームに15名のエキスパートを迎え、近年ワインの生産が活発化しているのに十分な関心が払われていないメキシコ産ワインを積極的に紹介（もちろん、日本のワインも取り上げています）
- 生産・消費の両方の立場から関わることのできる、ワインのサステナビリティについて検討
- ブドウのDNA研究に関する学識を盛り込んでいるほか、高級ワインの偽造・売買を防ぐブロックチェーンによるワイン管理など、最新の展開や状況を反映してアップデート
- 良くも悪くもワインの味や香りに大きな影響を及ぼす、ワイン醸造の複雑な化学、常に変化し続ける「流行り」の傾向なども解説

本チラシ掲載の価格は2023年10月現在のものです。円価は予告なく変更することがございます。予めご了承ください。